

# 小山市事務事業評価シート

令和元年度版

No. 50

<b>1. 基本情報</b>			
<1> 事業・業務名	危険物施設の査察		<2> 事業・業務の別
<3> 選定基準	④ その他		業務
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	5 災害に強く 快適で住みよい 夢を支えるまちづくり	<6> 担当部(局)
	中項目	5-1 災害に強く安全安心なまち	消防本部
	小項目	5-1-2 消防・救急	<7> 担当所属
	施策	予防指導事業	予防課
<9> 根拠法令・計画等	消防法	<10> 関連・類似事業	保安係
<11> 会計	会計	<12> 予算科目	款 項 目
<13> 実施期間	年度 ~ 年度	<14> 全体事業費	千円
<15> 実施手法	直営	「その他」の場合 ( )	

## 2. Do - 実施 -

<16> 事業・業務の概要	危険物を貯蔵・取り扱う施設からの災害発生を防止することにより、安全・安心な市民の生活を確保するため査察を実施する。								
目的	<17> 事業・業務の目的	危険物を貯蔵・取り扱う施設からの災害発生を防止することにより、安全・安心な市民の生活を確保することを目的とする。							
	<18> 事業・業務の対象	危険物を貯蔵・取り扱う施設							
手段	<19> 平成30年度の活動内容	危険物を貯蔵・取り扱う施設に対して査察を実施し、不備・欠陥等を確認した場合は是正・改善指導を実施。							
	<20> 活動指標 (活動した量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度			
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)	
		査察実施数	施設	339	339	335	335	100.0%	
成果	<21> 事業・業務の成果	危険物を貯蔵・取り扱う施設を適正に維持管理させ、危険物施設からの火災・災害等が発生させないようにするとともに、市民の安全を確保し、安心して暮らせるまちづくりをする。							
	<22> 成果指標 (活動の成果の量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度			
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)	
		違反改修状況	%	100	100	100	100	100.0%	
資源	<23> 投入指標 (投入するお金の量)	コスト実績	単位	平成29年度		平成30年度			
			千円	計画	実績	計画	実績	投入率(%)	
		事業費等	千円	0	0	0	0		
		財源内訳	国・県補助金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
			一般財源	千円					
		人件費	千円	3,598	3,598	3,573	3,573	100.0%	
正職員	千円 × 人役	7,195 × 0.5	7,195 × 0.5	7,146 × 0.5	7,146 × 0.5				
他の職員		×	×	×	×				

## 3. Check - 評価 -

実績評価	妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1. 妥当である
		<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	1. 妥当である
		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	2. 変わらずにある
		<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	1. 妥当である
	有効性	<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	1. 向上の余地はある
		<29> (総合計画基本計画) 施策への貢献度は大きいのか?	4. 該当しない
効率性	<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?	1. 向上の余地はある	
	<31> 民間への外部化(民営化・業務委託等)は可能か?	3. 不可能である	
公平性	<32> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?	4. 該当しない	
<33> 総合評価 (事業全体の改善の余地)	2. 改善の余地はある	理由	危険物施設の査察基準による件数、違反改修率は目標を達成しているが、災害事故は全国的に増加傾向にあり、自動化や複雑な工程導入により事故の発生確率が高くなっている。 事業の効率を向上させ、危険物の保安を確保するには、事業所自ら施設を適法な状態で維持管理し、関係者に対する自主保安体制の指導を推進させるため、毎年継続し査察を実施することが求められる。

## 4. Action - 改善 -

事業の改善	<34> 事業の課題 事業の改善点 今後の方針	危険物の保安を確保するためには、各事業所の法令遵守はもとより、自主保安体制の確立、危険物の保安に対する意識の高揚が不可欠である。 査察により、施設の潜在危険要因を抽出し、是正・改善の指導を行い、関係者による自主保安体制を確立させ、事故防止の推進を図る。		
	<35> 1次評価	所属長	3. 現状維持	理由 全国的に増加傾向にある危険物施設における事故発生状況を踏まえ、事故を未然に防止するため是正・改善指導を行い、査察業務を継続する必要がある。
	<36> 2次評価	所管部長	3. 現状維持	理由 危険物による災害事故が発生した場合、物的・人的に甚大な被害が発生することが考えられることから、災害発生防止のため危険物施設の査察業務は重要である。 継続的に査察及び改善指導を実施し、火災・災害の予防に努めること。

## 5 Plan - 計画 -

事業の計画	<37> 実施計画	危険物施設に対して査察基準に基づき査察を実施し、不備や欠陥等を確認した場合は是正・改善指導を行う。継続的に実施することで、自主保安体制の構築を支援する。			
	<38> 活動・成果目標	コスト計画	単位	令和元年度	令和2年度
			千円	計画	計画
				3,573	3,573
	事業費等	千円	0	0	
	人件費	千円	3,573	3,573	